

第58回プログラミング・シンポジウム開催に際して

今年は投票行為で驚きのことが結構あった。まずはイギリスにおけるEU離脱の是非を問う国民投票が僅差で離脱となったことである。次は東京都知事選挙である。政党の推薦を受けない候補が大差で勝った。その後豊洲の問題や東京オリンピックの会場問題が明るみに出ている。第三はアメリカの大統領選挙である。政治の経験もなく軍人でもない人が当選した。ところで私は切り札のあるカードゲームを嗜むが、ゲームの世界でも深層学習のおかげで、将棋に次いで囲碁でも話題を提供してくれた。小生としては、構造を作って学習させるより、プログラムが何をするかきちんと書いて動かす方が性に合っている。

さて、夏のシンポジウムは、57回のプログラミング・シンポジウムで教育の話題が多かったこともあって、「教育」をテーマにして行った。成果をみていただきたい。

第58回は招待講演で車の自動運転に関するものをお願いした。昨今老人による事故がニュースになっているので、多めに発展を期待したいところだ。一般講演は皆さんが活発なことと思うが、発表数が前回より増え終了時間が少し遅くなっており申し訳ない。参加者の皆さんの活発な議論を期待する。

2016年12月

プログラミング・シンポジウム委員会

委員長 辻 尚史